

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## @web

# 第62回

2021年  
**1月30日(土)**  
13:00 ~ 15:00  
ルームオープン: 12:40

**Zoomにて開催!** **参加無料**

★メールでのお申し込みが必要です。

Zoomの参加URL(ルーム番号とパスワード)をお送りします。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

## 第二次世界大戦中のモスクワ放送 ——日本語放送の前史から第二次世界大戦

報告者: 島田 顕



モスクワ放送局舎(WWII当時)



コミンテルン本部



ホテル・ルクス(コミンテルン関係者の宿舎)

### ソビエト連邦の国際放送「モスクワ放送」の黎明期

モスクワ放送の日本語放送の前身というべき中国戦線における延安新華広播電台の日本語放送開始から、第二次世界大戦中のモスクワでの日本語放送開始の経緯、そして日本語放送開始の2年後に極東で行われた受信状況、放送内容のモニタリング調査について概括する。

#### ●島田 顕(しまだ あきら)

1965年生まれ。

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士(社会学)。

専門は歴史学、国際関係論。著書・論文に

『ソ連・コミンテルンとスペイン内戦』(れんが書房新社、2011年)、

『コミンテルンが描いたユートピア』(図書新聞2012年)、

『大祖国戦争勃発直後のコミンテルンのラジオ・プロパガンダ強化策』  
(『Intelligence』16号、2016年)、

『第二次世界大戦中のモスクワ放送』(『アジア太平洋討究』27号、2016年)、

『ラジオ・ピレナイカ(独立スペイン放送)——コミンテルンが開始した秘密ラジオ放送』  
(『Intelligence』第17号、2017年)、

『石坂幸子とモスクワ放送——元NHK女子アナウンサーが見た  
戦後直後のハバロフスク放送局日本語放送』

(『早稲田大学アジア太平洋討究』第33号、2018年)

など。